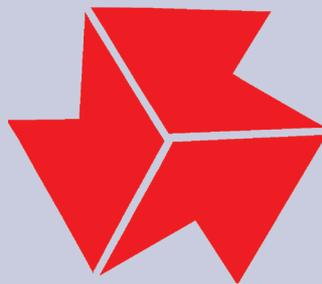


令和四年度  
東京都高等学校体育連盟  
弓道専門部必携



顧問ならびに生徒代表は、大会参加の際、  
必ず本冊子を持参すること。

東京都高等学校体育連盟  
弓道専門部事務局

<http://www.kyudo-tokyo.jp/>  
[https://twitter.com/kyudo\\_tokyo](https://twitter.com/kyudo_tokyo)

## は し が き

この冊子は令和4（2022）年度東京都高等学校体育連盟弓道専門部の行事实施に関する事項をまとめたものです。

各校の顧問の先生はこの必携により大会運営の内容を理解され、生徒の指導に遺漏のないようお願い申し上げます。

とりいそぎ編集しましたので至らぬ点多々あるかと思いますが、今後もこれを基本として逐次積み重ね、よりよいものを作りたいと思いますのでご指導、ご協力の程、よろしくようお願い申し上げます。

東京都高等学校体育連盟  
弓道専門部 事務局

## 目 次

1. 弓道専門部の沿革概要
2. 過去3ヶ年の大会記録
3. 東京都高等学校体育連盟弓道専門部規約
4. 高等学校体育連盟弓道選手登録・大会参加申込手順
5. 令和4年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会関係
  - (1) 大会運営申し合せ事項
  - (2) 大会日程
  - (3) 関連大会等
  - (4) 行事予定
6. 令和4年度 東京都高等学校体育連盟主催弓道大会
  - (1) 業務分担表・業務内容
  - (2) 大会実施要項
7. 令和4年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
  - (1) 役員表（案）・問い合わせ先・組織図（案）
  - (2) 加盟校一覧
  - (3) 大会立順票
  - (4) 取矢免除申請書
  - (5) 選手交代届

# 弓道専門部の沿革概要

## 〈沿革概要〉

\* 都高体連加盟の頃の状況と藤沢茂兵衛先生 \*

公式の文書が見当たらないので加盟の運動に参加した市川隆三先生（元日体荏原高顧問）の手書き、高体連事務局長の田代清三郎先生（両国高）の談話、日弓連の三十周年記念特別号、全国高体連の四十年史、全国高体連弓道専門部の弓道二十年史、弓道三十年史を参照して書いてみる。年表にあるように、昭和26年、学校弓道が復活した。

(1) 昭和27年の秋から昭和28年の春と秋に下記の7校が当番校をきめ、リーグ戦形式で練習試合をする。

早大学院、慶應義塾、法政第二、目黒、八潮、忍岡、日体荏原（他に高田外語、調布もメンバーに入れる）

(2) 昭和29年春、忍岡高校の弓道部顧問の藤沢茂兵衛先生より高校単位で公私関係なく17校以上まとまれば高体連に加盟して弓道専門部を発足することができるとの相談があった。

都立校は藤沢先生、私立校は市川先生が分担して、参加を督促した。

(3) 昭和29年7月、第1回の相談連絡会を、続いて昭和29年10月31日に発会式を、いずれも日体荏原高で実施。

(4) 高体連の加盟手続は藤沢先生が中心になり軌道にのってからは、八潮高校の河治先生が協力し、昭和31、32年頃の運営実務は河治先生が当たった。

以上が設立の事情であるが、藤沢茂兵衛先生については、前記の日弓連の村上久先生が「小遣い銭を全部投入して世話した」と激賞している。勿論私達も先生の死後、昭和49年から52年まで「藤沢賞大会」を設け、その徳を偲んだ。

当時の歴史は改めて調査したいと思っている。（本文は「高体連四十年史」より抜粋）

### 川又杯について

昭和56年度から平成5年度まで長らく委員長を務められていた川又之裕先生が、平成9年7月に逝去されました。

先生は弓道界とはまったく無縁であったにもかかわらず、その類い稀な行動力で弓道専門部の運営、学校弓道の普及に尽力され、関東個人選手権選抜大会や中学校大会の創設に貢献されるなど、弓道専門部に多くの功績を残されています。

在りし日の先生をご存じの方にもそれぞれの思い出があることと思いますが、弓道専門部では先生の遺徳を偲んで平成10年度に川又杯を新設しました。（日体荏原高 篠原清三郎）

桜水商業 → (現) 杉並総合  
館 → (現) 翔陽  
目白学園 → (現) 目白研心  
明正 → (現) 芦花

年度	部長	記事
S 20		11月 文部次官通牒により武道の授業中止となる
S 21		11月 大日本武徳会解散命令
S 24		5月 日本弓道連盟結成される
S 26		7月 文部次官通知により学校における弓道の実施許可される
S 27		2月 文部省主催「学校弓道講習会」開催（会場は皇居内済寧館） 弓道指導の手引き刊行
S 30		全国高体連に弓道専門部設置
S 31		東京都高体連に弓道専門部設置 8月10日 全国代表者会議 事務局長に藤沢茂兵衛 8月11・12日 第1回全国高校弓道大会（甲府市県営弓道場）
S 42	石塚 智一 （桜水商業）	委員長：大野惣次郎（桜水商業）
S 43		6月 都連と協議会
S 44		10月 長崎国体出場（総合5位） 國學院大學久我山高校
S 45	羽山 正二 （桜水商業）	8月 第1回全国教職員大会（伊勢）
S 46		第1回個人選手権大会（毎日新聞社後援）
S 47		6月 第16回関東大会（駒込体育館）
S 48	吉田 繁隆 （桜水商業）	次年度より参加料（個人 400円）
S 49		藤沢賞大会
S 53	西山 正 （桜水商業）	大会会場が明治神宮至誠館になる
S 55		6月 第24回関東大会（多摩市）
S 56	荒川 潤 （両国）	委員長：川又之裕（両国）
S 57	羽部 英二 （両国）	9月 第1回関東高校弓道個人選手権選抜大会（至誠館）
S 58	諏訪部 憲一 （館）	1月 第1回全国高校弓道選手権大会 関東地区予選会（浜町弓道場） 3月 第1回全国高校弓道選手権大会（至誠館）
S 59	斉藤 克 （芝商業）	11月 第3回関東高校選抜大会
S 60		1月 第1回東京都中学校弓道大会（日本大学弓道場）
S 61	大滝 和一 （忍岡）	12月 東京都中学校教員研修
S 62		7月 第25回関東教職員弓道大会（至誠館）
S 63		6月 第32回関東大会（至誠館）
H 1	加藤 正春 （日体荏原）	東京武道館完成・使用開始
H 2		8月 第35回全国総体 男子の部 個人優勝（早稲田実業） 都総体の優勝旗が完成する 弓道専門部必携作成・配布
H 4	鈴木 渉 （芝浦工大）	委員長：田中直日（國學院久我山）
H 6		9月 第14回関東個人選手権が台風のため競技中止となる
H 7		2月 第1回親善交流団がアメリカへ派遣される
H 8		6月 第40回関東大会（至誠館）
H 10	田中直日 （國學院久我山）	委員長：神津秀章（目白学園） 都個人選手権大会に川又杯新設
H 11		10月 第2回親善交流団がフランスへ派遣される
H 12	川福 基之 （國學院久我山）	明治神宮至誠館第二弓道場完成
H 14	村井 信彦 （明正）	弓道専門部ホームページ開設
H 17		委員長：杉山浩司（科技学園）
H 19	白井 勝 （吉祥女子）	
H 21	野中 英雄 （目白研心）	委員長：神津秀章（目白研心） 3月 全国選抜大会 女子の部 団体優勝（慶應義塾女子） 関東個人 女子 1～3位独占
H 22		9月 第56回関東大会（至誠館）
H 23		6月 第57回関東大会（至誠館）
H 24	野口 敏朗 （東）	10月 国体遠的競技 女子の部 4位入賞
H 25		委員長：柏木浩之（東）
H 26		3月 遠的大会 大雪のため近的に変更 8月 全国総合体育大会 （東京武道館特設弓道場）
H 27		9月 関東個人 デング熱のため中止 9月 関東個人 女子の部優勝
H 28	余湖 浩一 （東）	3月 遠的大会 強風のため近的に変更 10月 国体遠的競技 男子の部 5位入賞 12月 第35回全国選抜大会 女子の部 個人優勝（東）
H 29		委員長：松崎賢一（芦花） 12月 第36回全国選抜大会 女子の部 個人優勝（桜修館）
H 30	榎 茂 喜陽 （翔陽）	10月 国体遠的競技 女子の部優勝 9月 関東個人 女子の部優勝
R 1		10月 国体遠的競技 男子の部準優勝 12月 第38回全国選抜大会 男子の部 団体優勝（芦花）
R 2		以下、新型コロナウイルス感染症のため中止 関東大会東京都予選会・関東大会 東京都総合体育大会 東京都個人選手権大会 関東個人選手権選抜大会 東京都遠的大会 9月 東京都総合体育大会の代替として Tokyo Thanks Match開催
R 3		公式戦を男女各予選と男女決勝の3日間開催として実施 出場校顧問による大会運営業務拡大

過去3ヶ年の記録（男子）

大会名	種目	順位	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度
関東大会 東京都予選会	団体	1位	美原	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 芝浦工業大学附属 桜修館
		2位	城北学園城北		
関東大会	個人	3位	翔陽	ベスト16 東海大学菅生	
		出場権			
都総合体育大会 (インターハイ予選)	個人	1位	花原	代替大会：芦花 代替大会：井草 代替大会：芦花	美原 桜修館 佐々元海(美原) 山口暖生(桜修館) 相良賢悟(井草) 田中恒成(芝浦工業大学附属) 吉田一(江戸川) 宮野遥(立正大学付属立正) 光武総一郎(海城)
		2位	東		
インターハイ	個人	3位	城北学園城北	代替大会：芦花 代替大会：井草 代替大会：芦花	美原 桜修館 佐々元海(美原) 山口暖生(桜修館) 相良賢悟(井草) 田中恒成(芝浦工業大学附属) 吉田一(江戸川) 宮野遥(立正大学付属立正) 光武総一郎(海城)
		6位	安藤巨佑(美原)		
東京都 個人選手権大会	個人	1位	花原	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	8位入賞 山口暖生 富沢昇吾(東) 広末希真(井草) 澁屋太紀(城北学園城北) 宮川瑛太郎(桜修館) 机竜正(桜修館) 佐藤大介(井草) 和田創太(城北学園城北) 田中海斗(國學院久我山) 鎌田有人(八潮) 杉本諭哉(昭陽) 志村克也(翔陽) 高木亮介(城北学園城北) 竹内優乃介(桜修館) 大山匠(昭陽) 相沢勇氣(芦花) 山口暖生(桜修館) 山川悠斗(翔陽) 澤井悠吾(東海大学菅生) 小森雄大(城北学園城北) 高井大雅(江戸川)
		2位	東		
		3位	城北学園城北		
		4位	和泉樂(芦花)		
		5位	田沼翔太(桜修館)		
		6位	坂本陸(東)		
		7位	植村誠(秋留台)		
		8位	山地利聡之(城北学園城北)		
		9位	松本武(東)		
		10位	森川哲哉(大成)		
		11位	畑農馬(美原)		
		12位	ベスト16 芦花		
		13位	決勝進出 田沼翔太 準決勝進出 和泉		
		14位	坂本陸(東)		
		15位	鈴木夏哉(つばさ総合)		
		16位	金山稜(城北学園城北)		
		17位	横地洸輝(芝浦工業大学)		
		18位	熊谷竜車(立川国際)		
		19位	藤田陽生(江戸川)		
		20位	田村悠莉(城北学園城北)		
関東個人選手権選抜大会	個人	3位	吉田和樹(早稲田)	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	4位 田中海斗(國學院久我山) 7位 宮川瑛太郎(桜修館) 決勝進出 鎌田有人・澤井悠吾 準決勝進出 澁屋太紀・山川悠斗
		6位	和泉樂(芦花)		
東京都 秋季大会	個人	1位	花原	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		2位	城北学園城北		
東京都 新人大会	個人	3位	城北学園城北	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		1位	東海大学菅生		
東京都 遠的大会	個人	2位	和泉樂(芦花)	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		3位	佐藤一真(國學院)		
全国選抜大会	個人	1位	美原	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		2位	芦花		
国民体育大会	選手名	1位	和泉樂(芦花)	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		2位	中河俊翼(美原)		
国民体育大会	選手名	3位	阿部佑樹(美原)	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		4位	森下晴渡(井草)		
国民体育大会	選手名	5位	伊地知賢(翔陽)	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	東海大学菅生 草 桜修館 東 富沢昇吾(東) 近藤響(東海大学菅生) 森田千博(東)
		1位	遠的の部・準優勝 田沼翔太・和泉樂・吉田和樹・鈴木香哉		

過去3ヶ年の記録（女子）

大会名	種目	順位	平成31(令和元)年度	令和2年度	令和3年度	
関東大会 東京都予選会	団体	1位	桜 修 館	新型コロナウイルス 感染予防のため中止	桜 修 館	
		2位	桜 修 館		三 海 大 学 菅 生	
3位	文 化 大 学 杉 並	杉 並 総 合				
3位	美 出 場 権	美				
関東大会	個人	ベスト8	桜修館 ベスト16文大杉並・東		ベスト8桜修館 ベスト16東海大学菅生	
		技能優秀	見米 彩(文化大学杉並)			
都総合体育大会 (インターハイ予選)	個人	1位	三 橋 結 子(桜 修 館)		代 替 大 会 (Tokyo Thanks Match) はし 個 人 戦 な し	美 原 館
		2位	見 米 彩(文化大学杉並)			松 本 愛 美(美 原)
3位	中 町 天 音(桜 修 館)	三 橋 結 子(桜 修 館)				
4位	荒 木 鈴 音(國 學 院)	宮 崎 梨 紗 子(東)				
5位	間 處 步 未(日 体 大 桜 華)	宜 保 万 優(美 原)				
6位	横 田 奈 々(東)	梅 沢 直 未(文化大学杉並)				
7位	山 口 紗 弥(早 稲 田 実 業)	工 藤 結 子(桜 修 館)				
8位	藤 美 優(美 原)	倉 島 愛 実(杉 並 総 合)				
金 子 有 希(美 原)						
インターハイ	個人	ベ ス ト 1 6 桜 修 館				
東 京 都 個 人 選 手 権 会 大	個人	1位	森 山 加 菜(美 原)	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 予 防 の た め 中 止	キ ア ニ 希 花(東)	
		2位	塚 本 真 愛(芦 花)		堀 部 加 奈(東海大学菅生)	
		3位	荒 木 鈴 音(國 學 院)		笹 木 歩 花(芦 花)	
		4位	栗 田 茉 由(都 市 大 学 等 々 力)		宮 崎 梨 紗 子(東)	
		5位	三 瓶 愛 美(東)		松 本 奈 央(慶 應 義 塾 女 子)	
		6位	山 口 美 紅(日 体 大 桜 華)		清 水 花 帆(東海大学菅生)	
		7位	浜 崎 真 帆(桜 修 館)		本 間 優 茉(桜 修 館)	
		8位	石 田 広 美(翔 陽)		雉 間 愛 子(慶 應 義 塾 女 子)	
		9位	中 澤 ほ の か(日 体 大 荏 原)		小 嶋 涼 楓(田 園 調 布 学 園 高 等 部)	
		10位	山 口 紗 弥(早 稲 田 実 業)		小 塩 亜 実(東海大学菅生)	
		11位	杉 村 彩 姫(美 原)		小 齋 藤 亜 実(東海大学菅生)	
		12位	若 杉 美 咲(頌 栄 女 子 学 院)		渡 邊 菜 々 美(慶 應 義 塾 女 子)	
		13位	堀 部 百 葉(立 正 大 学 立 正)		佐 藤 心 音(芦 花)	
		14位	保 坂 亜 衣(錦 城)		五 十 川 リ ン(翔 陽)	
		15位	遠 藤 凜 子(頌 栄 女 子 学 院)		白 井 裕 菜(翔 陽)	
		16位	亀 卦 川 響(早 稲 田 実 業)		一 宮 万 里 河(東海大付属高輪台)	
		17位	間 處 步 未(日 体 大 桜 華)		緒 方 翔 子(美 原)	
		18位	早 坂 真 尋(晴 海 総 合)		湯 山 理 央(早 稲 田 実 業)	
		19位	遠 藤 灯 和 子(品 川 女 子 学 院)		坂 井 ず ず(東)	
		20位	真 家 彩(桜 修 館)		三 輪 優 美 子(慶 應 義 塾 女 子)	
関東個人選手権選抜大会	個人	1位 占部 愛依理(慶應義塾女子) 8位 上田 みすず(桜 修 館) 準決勝進出 荒木鈴音・保坂真尋	4位 キアニ 希花(東) 決勝進出 佐藤心音 準決勝進出 清水花帆・小嶋涼楓			
東 京 都 秋 季 大 会	個人	1位	慶 應 義 塾 女 子 館 原	吉 祥 女 子 陽	芦 東 花	
		2位	桜 美 原	吉 祥 女 子	吉 祥 女 子	
東 京 都 新 人 大 会	個人	1位	石 田 広 美(翔 陽)	渥 美 唯 一 葉(東)	宮 坂 和 来(桜 修 館)	
		2位	占 部 愛 依 理(慶 應 義 塾 女 子)	清 水 花 帆(東海大学菅生)	池 田 桜(井 草)	
東 京 都 遠 的 大 会	個人	1位	三 瓶 愛 美(東)	財 満 奈 穂(慶 應 義 塾 女 子)	今 川 桃 寧(小 岩)	
		2位	岡 屋 桜 子(井 草)	梅 沢 直 未(文化大学杉並)		
全国選抜大会	個人	1位	決 勝 進 出 石 田 広 美			
		準 決 勝 進 出 占 部 愛 依 理				
国民体育大会	選手名		新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 予 防 の た め 中 止			

# 東京都高等学校体育連盟弓道専門部規約

## 第1章 名称及び事務局所在地

第1条 本専門部は東京都高等学校体育連盟弓道専門部と称する。

第2条 本専門部の事務局は部長または副部長の在任校におく。

## 第2章 目的・事業

第3条 本専門部は東京都高等学校体育連盟の規約に基づき、関係団体と提携し、高等学校における弓道の健全な発展を図ることを目的とする。

第4条 本専門部は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 高等学校における弓道の指導講習会の開催
2. 高等学校弓道大会の開催
3. 関係団体との連絡
4. その他目的達成に必要な事項

## 第3章 組織

第5条 本専門部は東京都高等学校体育連盟規約第6条によって組織する。

第6条 本専門部は都内高等学校および中等教育学校後期課程弓道部をもって構成する。

## 第4章 役員

第7条 本専門部に次の役員をおく。

1. 部長 1名（校長を原則とする）
2. 副部長 若干名
3. 常任委員 若干名
4. 顧問 若干名
5. 参与 若干名
6. 委員 若干名
7. 会計監査 2名

第8条 部長及び副部長は専門部総会において推挙し、東京都高等学校体育連盟理事会の議を経て、会長がこれを委嘱する。

1. 部長は専門部を代表し、会務を総括する。
2. 副部長は部長を補佐し、部長事故あるときは、その職務を代行する。
3. 常任委員は委員の互選により、教職員より選出する。
4. 委員は加盟校の当該クラブ顧問（教職員）、生徒より各1名を選出する。
5. 顧問は長年高等学校体育連盟弓道専門部の業務に尽力し、原則として部長または副部長をつとめた者の中から専門部総会の推挙により部長が委嘱する。顧問は専門部の運営に関し、部長の諮問に応じる。

6. 参与は長年高等学校体育連盟弓道専門部の業務に尽力し、原則として常任委員をつとめた者の中から専門部総会の推挙により部長が委嘱する。参与は専門部の運営に関し、部長の諮問に応じる。

第9条 役員の任期は2ケ年とする。但し、重任を妨げない。補欠によって就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

## 第5章 会 議

第10条 本専門部に次の会議をおく。

1. 専門部総会
2. 常任委員会
3. 顧問・参与・常任委員会

第11条 専門部総会は年1回部長が招集し、次の事項について審議する。

1. 決算の承認及び予算に関する事項
2. 事業に関する事項
3. その他重要な事項

第12条 常任委員会は部長が招集し、委嘱された事項及び緊急な事項について審議し処理する。

第13条 顧問・参与・常任委員会は部長が招集し、委嘱された事項及び緊急な事項について審議し処理する。

## 第6章 会 計

第14条 本専門部の経費は男女それぞれ加盟費7,500円及び寄付金をもってあてる。

第15条 本専門部の予算、決算は専門部総会の議を経て、東京都高等学校体育連盟理事会の承認を得るものとする。

第16条 本専門部と会計年度は、東京都高等学校体育連盟規約に準ずる。

第17条 本専門部の会計業務は会計担当者の所属校におく。

## 第7章 附 則

第18条 本規約は平成4年4月1日より実施する。

## 高等学校体育連盟弓道選手登録

**選手登録は各校の顧問が責任をもって必ず実施してください。**

選手登録は、顧問から選手登録担当者への、選手登録ファイルの提出により行います。今年度の更新登録は昨年度の3月に完了しています。顧問の異動などで引き継ぎがなされていない場合は総会後にお問い合わせください。新入部員による追加登録については下記を参照してください。

なお、**【重要】選手登録を行っていない選手は、都大会への出場資格がありません。**関東大会都予選会は3月中旬の新規提出締切日まで、他の公式戦はそれぞれの大会申込締切日までに選手登録を完了しないと、その公式戦には出場できません。

### 選手登録ファイル提出期限

#### (ア) 更新登録

**毎年3月中旬**です。ここで選手登録をしない選手は、4月の関東大会東京都予選に出場できません。前年度1・2年生データを、新年度2・3年生データとして選手登録してください。中高一貫校は前年度中3生の継続部員を新年度1年生として選手登録してください。**この作業は、前年度顧問が責任をもって行い、新年度顧問に選手登録ファイルを引き継いでください。**

#### (イ) 追加登録

更新提出（ア）以降のデータの追加は**随時受け付け**ます。データ追加は、提出した選手登録ファイルに追加入力して上書きし、再度提出してください（入力は追加のみとし、**退部者や転出者がいても、削除などは行わないでください**）。

### 【新入部員特例措置】

新入部員が弓道経験者で、関東大会東京都予選に出場させたい場合には、大会3日前までに（イ）追加提出の要領で選手登録してください。ただし、この特例措置は**新入部員に限り**ます。中高一貫校の継続部員は対象外です。

公式戦（関東大会都予選会を除く）の大会申込締切日までに（追加登録（イ）にて）選手登録を完了しないと、その公式戦には出場できません。

**新年度新入部員の選手登録は、7月上旬の都個人選手権申込締切日までに完了してください。**

## 加盟費の納入について

### 東京都高体連加盟費

- 私立高校・国立高校 ⇒ 男子校・女子校は、各7,500円  
共学校は、15,000円  
都立高校 ⇒ 東京都が負担するので、各校からの払込の必要なし

### 全国高体連弓道専門部加盟費

- 都立高校・私立高校・国立高校 ⇒ 男子校・女子校は、各2,000円  
共学校は4,000円

### 【払込用紙・払込期間・領収書の発行について】

- ✓ 必携と一緒に配布した「払込取扱票（払込票兼受領証）」にて4月中にお支払いください。
- ✓ 払込が確認できたものに関しては、領収書を関東大会東京都予選の受付の際に配付します。

私立高校・国立高校の記入例（女子校の場合） 共学校は、19,000円です。

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	口座記号	001304	口座番号
001304	金額	707395	金額
			¥9500
加入者名	東京都高等学校体育連盟弓道専門部	加入者名	東京都高等学校体育連盟弓道専門部
通信欄	加盟登録費	金額	¥9500
学校名 (学校番号)	私立国立高等学校 (〇〇)	ご依頼人	様
東京都高体連	男子 有・無	料金	(消費税込み) 日附印
加盟登録費	女子 〇・無	円	
全国高体連	男子 〇・無	7,500	円
加盟登録費	女子 〇・無	0	円
振込	合計	2,000	円
		9,500	円
ご依頼人欄に、おとごころ・おなまえをご記入ください。	日	附	印
ご依頼人欄に、おとごころ・おなまえをご記入ください。	様		
ご依頼人欄に、おとごころ・おなまえをご記入ください。			

都立高校の記入例（共学校の場合） 別学校は、2,000円です。

払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
00	口座記号	001304	口座番号
001304	金額	707395	金額
			¥4000
加入者名	東京都高等学校体育連盟弓道専門部	加入者名	東京都高等学校体育連盟弓道専門部
通信欄	加盟登録費	金額	¥4000
学校名 (学校番号)	都立高等学校 (〇〇)	ご依頼人	様
東京都高体連	男子 〇・無	料金	(消費税込み) 日附印
加盟登録費	女子 〇・無	円	
全国高体連	男子 〇・無	2,000	円
加盟登録費	女子 〇・無	2,000	円
振込	合計	4,000	円
ご依頼人欄に、おとごころ・おなまえをご記入ください。	日	附	印
ご依頼人欄に、おとごころ・おなまえをご記入ください。	様		
ご依頼人欄に、おとごころ・おなまえをご記入ください。			

### 大会参加申込手順

- 申込期限前に申込期限通知を一斉送信します。  
 顧問は参加費を振り込んで申込票を郵送してください（振込手数料は各校で負担してください）。不参加の場合は、不参加と記入した申込票（以下、不参加通知）を郵送、またはメールを送付してください。  
 ※メールの場合は件名に、大会名・不参加・学校番号・学校名を記入してください。  
 例その1：秋季大会・不参加・3・都立三田  
 例その2：新人大会・不参加・66・大成
- 申込期限直後に、申込票または不参加通知が未着の学校を列挙したメールを一斉送信します。該当する出場校の顧問は、大至急参加費を振り込んで申込票を郵送してください。不参加の場合は、不参加通知を郵送、またはメールを送付してください。
- 『2.』のメールの後、対応がない学校（未入金かつ連絡なし）は、その大会の出場を認めません。  
 ※1・2の郵送先は、申込票に記載されている、以下の宛先です。  
 〒108-0073 東京都港区三田1-4-46  
 東京都立三田高等学校内 野付将貴宛  
 Eメールアドレス：Masataka\_Notsuki@education.metro.tokyo.jp

## 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会運営申し合せ事項

競技については、(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則に則って運営するが、全国大会等では近年、競技規則にないからと独自の解釈をして、マナーを疑うような行為が多々見られるようになった。

都大会でも、安全・円滑かつ公正に運営され、選手が気持ち良く競技に臨める様、後述する大会実施要項に加え、以下のことについても協力をお願いしたい。

### 1. 顧問の役割

顧問は所属生徒(選手・係・応援者など)について、弓道専門部必携を熟知の上、十分に指導・監督して、一切の責任を負うものとする。また、以下の項目を厳守すること。

- (1)選手登録及び大会参加申し込みを行う。
- (2)大会開会式の前に本部席の出席簿に氏名の記入をすること。
- (3)開会式に出席し、競技役員として割り当てられた業務に従事すること。
- (4)引率ができない場合は、本部に代理引率者の届けを提出すること(原則として代理引率者も運営に当たる)。

### 2. 引率・監督について

- (1)引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- (2)監督は校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に加入していることを条件とする。

### 3. 注意事項

- (1)学校単位で出場ができなくなる事項
  - ①顧問の出席が確認されない場合(確認された時点で出場可)。
  - ②指定場所以外で飲食した場合。
  - ③大会運営上支障のある行為、あるいは高校生として良識に欠ける行為があった場合(控室、中央ホールでのゲーム・トランプ・漫画等)。
- (2)選手が守るべき事項(守らない場合は失権とする場合がある)
  - ①第一控入場時まで、第二控に着席すること。
  - ②行射中に選手同士あるいは選手と介添は声を掛け合わないこと。
  - ③替矢を用意しておくこと。
  - ④試合では弓道着(白)、袴(黒または紺)、足袋(白)を着用すること。アンダーシャツを着用する際は、白・黒・紺で無地のものに限り認める。ただし、ハイネック、タートルネックの着用は認めない。
  - ⑤選手は縦15cm×横20cm(A5サイズ可)の白布に学校名・選手姓名を記入したゼッケンを**右腰**につけること。その際、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。また、入館する介添は各校2名までとし弓道専門部貸与のIDを着用すること(選手でないID非着用者は退館)。
  - ⑥選手または介添は、立順票を第3控で招集係に渡すこと(立順票を忘れた場合は試合には出られない)。
  - ⑦足袋に水分その他を含ませるはならない。

- ⑧行射後、介添または選手は看的表示板を確認の上、必ず記録用紙（立順票）にサインすること。サイン後の的中異議申し立ては認めない。
- ⑨的中の確認申請は矢を抜き取る前に行うこと。矢取り後の申し出は認めない。
- ⑩各自で盗難防止に努めること。（自己管理・自己責任）
- ⑪特別な事情で規定とは異なる服装や行射（取矢免除など）をする場合は、書面（様式は巻末のものをコピーまたは専門部HPよりダウンロード）により開会式までに本部に届け出ること。
- ⑫会場入場者は下足用ビニール袋を持参し使用すること。
- ⑬飲食は所定の場所でとり、ゴミは必ず持ち帰ること。  
 明治神宮：屋外・中央道場2階控室  
 東京武道館：中央ホール（遠的場はブルーシートの上のみ可）
- ⑭リボン・ピアス・ネックレス等の装飾品の装着及び化粧品類の使用をしないこと。
- ⑮頭髪は高校生らしい頭髪とし、地毛の脱色・染色等の行為は慎むこと。ただし、特別な事由（疾病等）がある場合は、本部に申し出ること。危険防止のため長い髪は弦に巻き込まれない様に束ね、耳の前に垂らさないこと。
- ⑯男子は胸あてをつけないこと。
- ⑰選手・介添以外は、第三控より先に入らないこと。
- ⑱応援は節度をもって肅然と行い、東京武道館では拍手にとどめること。必要以上の大声を張り上げたり、試合の妨げになるような雑然とした言動をしないこと。また、**観客席での飲食・フラッシュ撮影は厳禁とする（度重なる注意にもかかわらず繰り返される場合、該当者の関係先を確認し、出場停止等の措置を採る場合もある）。**
- ⑲手首にテーピング、サポーターの使用は禁止する。サポーターの使用は肘のみでベージュまたはアンダーシャツと同色とする。
- ⑳弓道着の袖をまくったり、折り曲げたりしないこと。
- ㉑入場口でのチームへのかけ声や退場口付近での対戦チームへの挨拶等で大音量の発声をしていないこと。
- ㉒危険防止のため射技未熟の者は大会に参加させないこと（参加の可否は顧問の責任において判断する）。また、**参加した選手の行射が危険であると本部で判断した場合は、進行係等が行射を止め、退場させる場合もある。**
- ㉓ストッキングは素足と考えソックスを履くこと。
- ㉔矢摺籐の長さは6cm以上で目印などをつけてはならない。また、籐の欠損は危険防止のため、事前に巻きなおしておくこと。一部巻き直しは認められない。籐の一部にテープなどが張ってあるときは目印になるのではがしておくこと。籐に目印があると認められた場合は矢摺籐全面をテープで巻くので注意すること。
- ㉕大会会場の最寄駅改札付近で待ち合わせをしないこと。
- ㉖生徒は勿論のこと、顧問・引率責任者・監督・コーチであっても異性の控室への入室は厳禁とする。
- ㉗応援はtwitterなどを利用し自校のみに留め、観覧席を占有しない。
- ㉘選手はtwitterなどを利用し招集に間に合わないことのないよう注意する。
- ㉙東京武道館の和研修室のうち、手前2つは係生徒の食事及び休憩場所とする。
- ㉚明治神宮の会議室は、顧問の控室として開放するが、係生徒の食事及び休憩場所も兼ねる。



#### 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1)本専門部ホームページを通じて公開されます。
- (2)都高体連会報、理事会配布資料等に掲載されることがあります。
- (3)本専門部必携、次年度以降のプログラム等に掲載されることがあります。
- (4)競技会場内でアナウンスで紹介したり、掲示したりすることがあります。

#### 肖像権に関する取り扱い

- (1)本専門部が認めた機関が撮影した写真や映像が、関連ホームページ、メディア等で公開されることがあります。
- (2)本専門部の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

# 令和4（2022）年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 大会日程

行事名	参加条件	参加費	日時	申込締切	会場	備考
総 会	顧問・部長		4月9日(土) 15:00～		都立芦花高校	加盟申込書を提出すること
都総体開会式	男子 美原 女子 美原		4月9日(土) 15:45～		国立オリンピック記念 青少年総合センター	
関東大会 東京都予選	6チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 4月17日(日) 男子予選 4月24日(日) 男女決勝 4月29日(金) 男女とも 8:30開場	3月11日(金) 必着	明治神宮至誠館 第二弓道場 東京武道館弓道場	入賞3位まで(3位2校) 上位4校(東京開催は6校)は関東大会出場
東京都 総合体育大会 弓道競技 (全国総体 東京都予選)	個人 8名以内 (団体出場者5名を含む) 団体 1チーム (5名+補欠1名)	<b>実施要項 参照</b>	団体予選 6月12日(日) 個人・団体 6月18日(土) 男女とも 8:30開場	5月6日(金) 必着	東京武道館 弓道場	団体：入賞3位まで (優勝校は全国総体出場) 個人：入賞8位まで (上位2名は全国総体出場)
東京都 個人選手権大会 (関東個人選手権 大会東京都予選)	参加人数制限なし	1名 1,000円	女子予選 8月24日(水) 男子予選 8月25日(木) 男女決勝 8月26日(金) 男女とも 8:30開場	7月1日(金) 必着	明治神宮至誠館 第二弓道場	入賞20位まで (関東個人選手権大会出場枠は実施要項参照)
東京都 秋季大会 (兼全国選抜大会 東京都予選)	6チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 10月1日(土) 男子予選 10月2日(日) 男女決勝 10月23日(日) 男女とも 8:30開場	8月26日(金) 必着	東京武道館 弓道場	団体：入賞3位まで (優勝校は全国選抜大会出場) 個人：入賞8位まで (上位2名は全国選抜大会出場)
東京都新人大会 (兼東日本高等学校 弓道大会東京都予選) (3年生不可)	6チーム以内	1チーム 3,000円	女子予選 11月12日(土) 男子予選 11月13日(日) 男女決勝 11月20日(日) 男女とも 8:30開場	10月7日(金) 必着	東京武道館 弓道場	団体：入賞3位まで(3位2校) (上位2校(関東開催は3校)は 東日本大会出場) 個人：入賞5位まで
東京都 遠的大会 (3年生不可)	1チーム (3名+補欠1名)	1チーム 3,000円	2月12日(日) 男女とも 8:30開場	1月20日(金) 必着	明治神宮至誠館 第二弓道場	団体：入賞3位まで (入賞3校は紫灘旗全国遠的大会に推薦) 個人：入賞5位まで

※2023年度関東大会東京都予選の申し込みは郵送にて2023年3月10日(金)必着で申し込んでください。  
※今年度より公式戦の運営は原則とし出場校顧問によって行う。

令和4(2022)年度 関連大会等

大会名称	日	時	会場
第66回関東高等学校弓道大会	公式練習・開会式 競技	6月3日(金) 4日(土) 5日(日)	神奈川県 海老名市
全日本少年少女武道錬成大会		7月18日(月)	日本武道館
国民体育大会関東ブロック大会		7月30日(土) 31日(日)	明治神宮館 至誠館
第60回関東教職員弓道大会		7月3日(日)	埼玉県上尾市
第53回全日本教職員 弓道選手権大会		8月11日(木) 12日(金)	佐賀県 佐賀市
特別教員中央審査		8月13日(日)	佐賀県 佐賀市
第67回全国高等学校 総合体育大会		8月4日(木) 8月9日(火)	徳島県 徳島市
第24回紫灘旗全国高校 遠的弓道大会		8月20日(土) 21日(日)	福岡県 久留米市
第41回関東高等学校弓道 個人選手権選抜大会	予選 決勝	9月3日(土) 4日(日)	明治神宮館 至誠館
第77回国民体育大会		9月10日(土) 13日(火)	栃木県 宇都宮市
関東高体連審判講習会		12月3日(土)	埼玉県 上尾市
第41回全国高等学校 弓道選抜大会		12月23日(金) 25日(日)	熊本県 熊本市
関東教職員弓道指導者講習会		令和5年1月28日(土) 29日(日)	栃木県 宇都宮市
東京武道館杯武道選手権大会		2月11日(土)	東京武道館
都連中高生遠的大会		2月23日(木)	明治神宮至誠館
第22回東日本高等学校弓道大会		3月24日(金) 26日(日)	青森県 青森市

## 令和 4 (2022) 年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 予定表

		2022 年												2023 年		
日	4 月	5 月	6 月	7 月	日	8 月	9 月	10 月	11 月	日	12 月	1 月	2 月	3 月	日	
1	金	日	国体選考会① (東京武道館)	水	金	1 月	木	土	都民の日 秋季大会女子予選 (東京武道館)	火	1 木	日	元	水	1	
2	土	月		木	土	2 火	金	日	関東個人選手権 前日準備	水	2 金	日	振替休日	木	2	
3	日	火	憲法記念日	金	日	3 水	土	月	関東個人選手権 (明治神宮)	木	3 土	火		金	3	
4	月	水	みどりの日	土	月	4 木	日	火	関東個人選手権 (明治神宮)	金	4 日	水	土	土	4	
5	火	木	こどもの日 国体選考会② (東京武道館)	日	火	5 金	月	水		土	5 月	木	遠的講習会① (明治神宮)	日	5	
6	水	金		月	水	6 土	火	木		日	6 火	金	遠的講習会② (明治神宮)	月	6	
7	木	土		火	木	7 日	水	金		月	7 水	土	火	火	7	
8	金	日		水	金	8 月	木	土		火	8 木	日	水	水	8	
9	土	月	都総体開会式 専門部総会	木	土	9 火	金	日		水	9 金	月	成人の日	木	9	
10	日	火		金	日	10 水	土	月	栃木国体 (栃木県宇都宮市)	木	10 土	火	金	金	10	
11	月	水		土	月	11 木	日	火	山の日 Jr育成③ 全日本教職員大会	金	11 日	水	土	土	11	
12	火	木	都総体予選 (東京武道館)	日	火	12 金	月	水	栃木国体 (栃木県宇都宮市)	土	12 月	木	日	日	12	
13	水	金		月	水	13 土	火	木	栃木国体 (栃木県宇都宮市)	日	13 火	金	月	月	13	
14	木	土		火	木	14 日	水	金		月	14 水	土	火	火	14	
15	金	日	国体選考会③ (東京武道館)	水	金	15 月	木	土		火	15 木	日	水	水	15	
16	土	月		木	土	16 火	金	日	Jr育成④ (明治神宮)	水	16 金	月	木	木	16	
17	日	火	関東大会予選 女子(明治神宮)	金	日	17 水	土	月		木	17 土	火	金	金	17	
18	月	水	都総体決勝 (東京武道館)	土	月	18 木	日	火		金	18 日	水	土	土	18	
19	火	木		日	火	19 金	月	水	敬老の日	土	19 月	木	日	日	19	
20	水	金		月	水	20 土	火	木		日	20 火	金	月	月	20	
21	木	土		火	木	21 日	水	金		月	21 水	土	火	火	21	
22	金	日	関東大会 強化錬成大会 (東京武道館)	水	金	22 月	木	土		火	22 木	日	水	水	22	
23	土	月		木	土	23 火	金	日	秋分の日	水	23 金	月	木	木	23	
24	日	火	関東大会予選 男子(明治神宮)	金	日	24 水	土	月		木	24 土	火	金	金	24	
25	月	水		土	月	25 木	日	火		金	25 日	水	土	土	25	
26	火	木		日	火	26 金	月	水		土	26 月	木	日	日	26	
27	水	金		月	水	27 土	火	木		日	27 火	金	月	月	27	
28	木	土		火	木	28 日	水	金		月	28 水	土	火	火	28	
29	金	日	昭和の日 関東大会予選 男女決勝(都武武道館)	水	金	29 月	木	土		火	29 木	日	水	水	29	
30	土	月		木	土	30 火	金	日		水	30 金	月	木	木	30	
31	日	火		日	日	31 水	月	火		土	31 土	火	金	金	31	

## 大会運営業務について

令和元年度以前は常任委員と特定の学校の顧問及び生徒を中心とした大会運営を行なって参りました。令和2年度から新型コロナウイルス感染予防の観点から矢取り及び看的業務（令和3年度は的前審判の補助業務も追加）を各校顧問の先生に担って頂きました。お陰様で大きな問題も起こらず、円滑な大会運営を行うことができました。ただし、常任委員の所属校生徒は依然として補助係生徒として大会運営に携わりました。今後、新型コロナウイルスの終息が見えない状態で生徒の動員は必要最低限に抑えたいと考え、令和4年度は出場校の顧問の先生の手で全ての大会運営を行いたいと考えております。業務分担は以下の通りです。

### 令和4年度大会係分担案

※会場の設営は教員全員で行う

係名	概要	共学校	
		男子校	女子校
競技委員長	競技全般を統括する	翔	陽
競技副委員長	競技委員長の補佐をする	芦	花
的前審判 8人	矢所を確認し 的中を判定する  的前管理も兼ねる  矢処を確認する	的前審判 1	大成
		的前審判 2	錦城
		的前審判 3	美原
		的前審判 4	日体大荏原
		的前審判 5	八潮
		的前審判 6	三鷹
		的前審判 7	立正
		的前審判 8	昭和第一
的審補助 8人	行射の様子を 的前審判に伝える	的審補助 1	玉川学園
		的審補助 2	日大鶴ヶ丘
		的審補助 3	芝商業
		的審補助 4	國學院久我山
		的審補助 5	両国
		的審補助 6	目白研心
		的審補助 7	目黒学院
		的審補助 8	開成 成田園調布
看的 8人	看的表示を出す	看的 1	秋留台
		看的 2	駒場学園
		看的 3	法政大学
		看的 4	第五商業
		看的 5	立川国際
		看的 6	郁文館
		看的 7	芝浦工大
		看的 8	海城品川女子

係 名	概 要	共学校	
		男子校	女子校
矢 取 8 人	的の中確認後の 矢取と矢拭き	矢 取 1 矢 取 2 矢 取 3 矢 取 4 矢 取 5 矢 取 6 矢 取 7 矢 取 8	桜 美 林 世田谷総合 宝 仙 学 園 都市大等々力 学芸大学附属 東 京 実 業 明 星 学 園 早大学院 頌栄女子
コントローラー 2 人	競技全体の連携、 無線での指示	コントローラー 1 コントローラー 2	井 草 吉祥女子
進 行 6 人	射場内での選手・ 監督の誘導を行う 競技の進行を行う 関係部署と連携を 取り指示を出す	進 行 1 進 行 2 進 行 3 進 行 4 進 行 5 進 行 6	小 岩 桜 修 館 晴 海 総 合 青 梅 総 合 井 草 日体大桜華
招 集 誘 導 6 人	公式練習の召集、 誘導を行う	招 集 誘 導 1 招 集 誘 導 2 招 集 誘 導 3 招 集 誘 導 4 招 集 誘 導 5 招 集 誘 導 6	文 大 杉 並 杉 並 総 合 早稲田実業 葛 飾 総 合 江 戸 川 早 稲 田 駒 沢 学 園 女 子
射 場 記 録 8 人	記録用紙に結果を 記入し伝達する	射 場 記 録 1 射 場 記 録 2 射 場 記 録 3 射 場 記 録 4 射 場 記 録 5 射 場 記 録 6 射 場 記 録 7 射 場 記 録 8	東 昭 和 國 學 院 東 京 成 徳 日 比 谷 竹 台 新 渡 戸 文 化 佼 成 学 園 慶 應 義 塾 女 子
本 部 記 録 集 計 ・ 掲 示 6 人	的の中を入力し 記録用紙と照合 する 公式記録及び 速報原稿を作成 する	本 部 記 録 1 本 部 記 録 2 本 部 記 録 3 本 部 記 録 4 本 部 記 録 5 本 部 記 録 6	東海大菅生 練 馬 瑞 穂 農 芸 多摩大学目黒 駿 台 学 園 科学技術学園
式 典 ・ 表 彰	準備・司会など	式 典 ・ 表 彰 1	三 田
入 館 管 理 4 人	入館時間の管理誘導 ※領収書の配布 加盟登録用紙の回収 加盟登録の領収書の配付	入 館 管 理 1 入 館 管 理 2 入 館 管 理 3 入 館 管 理 4	つばさ総合 東海大高輪台 筑波大附属 城 北 東京女子学院

## 各業務内容

### 競技開始前の係【8：00入館後、速やかに業務に当たる】

#### ◇玄関指導

- 入館開始後の混乱を避けるため、状況に応じて入場規制を行う。
- 靴袋を忘れた生徒及び教員に、ビニール袋を渡すとともに学校名と人数を控える。
- 入館終了後、玄関付近を点検・清掃し本部に入館終了の報告をする。

#### ◇警備

- 係以外の生徒を退館させる。
- 不審者がいた場合は、速やかに本部に報告する。
- 観覧席で円滑な観覧ができるよう誘導し、フラッシュ撮影などには注意を与える。  
また、荷物による席取りには注意を与える。
- 選手控室での過剰なスペース確保などに注意を与える。
- 控室に異性が入室しないよう警備にあたる。

#### ◇設営（安土）

- 的を15個つけ、射場ごとに仕切り棒を立てる。
- 的前審判席（射場あたり2脚）と第三射場用に仮設看的表示板を設置する。
- 的前審判席には、○・×札（射場あたり1セット）を置く。

#### ◇設営（射場）

- 机6台（記録5・放送計時1）、椅子49脚（係24・選手15・介添10）、ベル、ストップウォッチ、白旗を用意する。
- 東京武道館では設営（控）と共に放送機器3セット（集合場所・遠的場はマイク同調）に電源を入れ音声が出ることを確認する。
- 立駒を置く。

#### ◇設営（控）

- 集合場所に机1台・椅子3脚・ホワイトボード1台を用意する。また、東京武道館では設営（射場）と共に放送機器を準備する。
- 第二控に椅子15脚・弓立1台・ホワイトボード1台を用意する。
- 第三控に椅子15脚・弓立1台・ホワイトボード1台を用意する。
- 東京武道館では、パーテーションや弓立を用いて中央ホールを仕切る。
- 必要箇所に張り紙をする。
- 東京武道館では、遠的場にブルーシートを設置する。

#### ◇受付

- 領収書の配付を行う（必要書類等があるときは、その配付および回収を行う）。

#### ◇式典司会

- 開会式の呼びかけ放送と司会を行う。

### 競技中の係【開会式終了後、速やかに競技が開始できるよう業務に当たる】

#### ◇招集

- 集合場所
  - \* 招集している立ち順番号をホワイトボードに記入し、出場チームがそろったら第三控に誘導する。
- 第三控
  - \* 立順票をもとに学校名・氏名を確認し所定の席に座らせる（弓具点検に備えて素早く行う）。
  - \* ゼッケン及び着装の確認を行う。
- 第二控
  - \* 立順票を回収し、射場記録に配布する。
  - \* 選手に入場を指示する。

◇ t w i t t e r

- 注意事項や連絡、招集状況などを t w e e t する。

◇ 的前審判・的前管理

◦ 構成・配置

ア) 的前審判：射場毎に的前審判と的前審補助を配置する。

- 的前審判は的中判定及び全的確認を担い、的前審補助は的前審判の補助を担う。

イ) 的前管理：射場毎に看的表示と矢取りを配置する。

- 看的表示は看的表示版の操作を担い、矢取りは赤旗・ブザーのコントロール及び、矢取り・矢返し、必要に応じて的替え業務を担う。

1. 業務内容

ア) 開会式後

- 射場にてミーティングを行い、トランシーバーなどを受け取る。
- 持ち場の集合時間やローテーションなどを確認する。

イ) 大会直前（前射場・後射場それぞれで行う）

❖ 的前審判

- 的中表示具が看的の見やすい位置に出せるよう調整する。

❖ 的前審補助

- 射場の選手の動きを把握し、看的の視界を妨げずに的前審判に的確に伝達できる位置を確認し、調整する。

❖ 看的表示

- 看的表示板の確認を『○』『×』を上から表示するのか下から表示するのも含めて行う。
- 確認・矢取りの際のブザー及びランプの作動確認を行う。
- 東京武道館では、ブザーを鳴らす・止める担当を、明治神宮では赤旗を出す・しまう担当を決める

ウ) 行射中

❖ 的中判定（的前審判）

- 的から目を離さず「あたり」「はずれ」を判定し、的前管理【看的】に的中表示具で『○』または『×』を示す（『失』及び『掃きあたり』の場合も『×』を出す）。○×判定を下せない場合は、『?』を示す（表示具は看的表示板に○または×が表示されるまで表示し続ける）。
- 『掃き中り』及び『?』を示した場合は、トランシーバーで連絡をする。
- 追い越し発射などの失権行為があった場合でも、的中であれば『○』を表示する（追い越し発射の場合、追い越した選手の的中は認められないが、追い越された選手の的中は認められる）。

❖ 判定補助（的前審補助）

- 射手の動きを見て、「1番、大三、引き分け、会、離れ」のように簡潔に発声し、的中判定に射手の状況を伝え、的中判定をサポートする（伝え方は審判員と打ち合わせる）。
- 弦音の後、次の射手の動きを伝える（次の射手が打ち起こせば発声）。
- 『失』の場合は、「1番、矢を落としました」と伝えるなど、射手の様子を伝える。
- 場合によって裏審（反対射場からの的中判定）を置く場合もある。

❖ 看的（的前管理）

- （自身の判断は持ち込まず）的中判定が示した的中表示具の通りに、明治神宮は下から、東京武道館は上から『○』『×』を表示する。『?』の場合は空白のままにする。
- 射場に射手が揃っていない場合があるので注意する。

## エ) 的中確認 (全的確認)

### ❖ 看的・矢取 (的前管理)

- 的前審判が全的確認に向かうタイミングで赤旗や赤色灯にて注意を促す。
- 『確認お願いします』のアナウンスで、行射が行われた射場の矢取りが看的小屋から整然と入場し落的手前に蹲踞で待機する。

### ❖ 的前審判

- C Rの指示で的前の確認に入り、的審補助を介して的中数と看的表示板を確認する。
- 終始、射場や観覧席からの的を遮ることのないよう配慮する。
- 判定補助に向けて、1番的から順に的中数を「第○射場 2、0、4」のように、簡潔に発声するとともに右手の指を立て、的審補助に示す。この際、掃き中りの矢を数えないよう注意する。
- 射手がいない的に関しては「0 (ゼロ)」と発声する。
- 失権になった矢が的中している場合は、全的確認後にアナウンスで失権となり、看的表示板が訂正されるので、全的確認の段階ではありのままの的中数を発声する。
- 射詰競射の際の全的確認は、的中のときは「1」残念のときは「0 (ゼロ)」と発声する。

### ❖ 的審補助

- 予め看的表示板を確認し、表示されている的中数を把握する。
- 的前から発せられる的中確認の発声と看的表示板が一致する場合は手を挙げ「はい」と発声し確認したことを周囲に示す。
- 一致しない場合は、挙手せずに「○番、もう一度確認して下さい」と伝える。
- それでも一致しない場合は次項『(カ) 判定に確認の必要がある場合』の『✓確認と看的表示板が一致しない場合』に遵う。

## オ) 的中判定

### ❖ 的前審判

- 確認に問題がなければ、その場 (落的に向かって左側あたり) で右手を挙げて射場に示し、射場記録が手 (白旗) を挙げたら手を下げ速やかに引き上げる。

### ❖ 看的

- 的中確認を終えた的中判定 (的前審判) が審判席に戻り始めると同時にブザーを鳴らし、看的表示板を元に戻す (ただし、競射の場合は射場の選手が退場し始めてから看的表示板を元に戻す)。

### ❖ 矢取り及び矢返し

- 的中確認を終えた的中判定が審判席に戻り始めると同時に速やかに矢取りを始める。
- 矢取り後、右手で持って左手で矢尻を支え、起立し、できるだけ揃って看的小屋へ退場する。
- すべての矢取りが退場すると同時に赤旗を回収し、赤色灯・ブザーを消す。
- 業務終了後、矢を綺麗に拭いて矢箱に矢返しする。

## カ) 判定に確認の必要がある場合

以下の事象が同時に起こった場合は確認作業を行う。優先順位は記載順とする (射場から確認要請があった場合は、何本目かを予め確認する)。的前審判は以下の事象に対応する際、○×表示具を持っていく。

### ✓射場からの的中の確認要請がある場合

- ❖ 次項【行射中、『?』を表示させた場合】に準じる。

### ✓行射中、『?』を表示させた場合

#### ❖ 的前審判

- 全的確認を行う前に、当該の的を確認し、体で的を隠さないよう配慮しながら、射場に向かって○×札を掲げ「確認します。第一射場 2 番、3 本目。あたりです」のように発声する (「合計○中です」とは発声しない)。

- ◇看的
  - 的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の空白『?』の部分を表示する。
- ◇的審補助
  - 看的が表示板の表示を的確に行なったことを確認し、的前審判に「なおりました」と伝える。
- ◇的前審判
  - 的審補助の『なおりました』の合図で、（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトタッチして自分が担当する射場の業務を行う）1 番的から全的確認を始める（『?』を出した的も再度確認する）。
- ✓ 確認と看的表示板が一致しない場合
  - ◇的前審判
    - ○×を判定し、射場に向かって○×札を掲げ「訂正します。第一射場 2 番、3 本目。あたりです」のように発声する（「合計○中です」とは発声しない）。判定が下せない場合は、他射場の的前審判に応援を乞う。
    - 看的通りだった場合は「確認します。看的表示板の通りです」のように発声する）。
  - ◇看的
    - 的中判定の発声に耳を澄ませ、看的表示板の該当箇所を訂正する。
  - ◇的審補助
    - 看的が表示板の表示を的確に行なったことを確認し、的前審判に「なおりました」と伝える。
  - ◇的前審判
    - 判定補助の「なおりました」の合図で、（隣射場の教員が担った場合は、生徒にバトタッチして自分が担当する射場の業務を行う）「○番から再開します」と的審補助に伝え、訂正した的の次の的から確認を再開する。

## 2. 遠近競射（順位決定）

的面及びその延長面で、的の中心から距離が近い矢を上位とする（的中>塚>たたき矢>掃きあたり>掃き矢>矢道>矢）が、同位としか判断できない場合、CR（または本部）に引き直しを要請する。

✓ 教員が 3 名 1 組で順位決定を行う。

✓ 配置は下図の通り（ $\alpha$ ・ $\beta$ は蹲踞）。【 $\alpha$ ・ $\beta$ ・ $\gamma$ は適宜割り振る】

✓ 体で的を隠さないように配慮して配置につく。

✓ 公正・迅速を心掛ける。

$\alpha$ ：上位の（中心に近い）矢を右手人差し指で指す（必要に応じて定規などを用いる）。

$\beta$ ： $\alpha$ が指した矢を確認し、左手で的を押さえ右手で矢を抜き、矢羽根を上にして順位札を本矧の 2 cm 下部付近に、剥がれ難くかつ剥がし易いように貼付して審判員  $\gamma$  に手渡す。

$\gamma$ ： $\beta$ の抜いた矢を左手で受け取り、矢羽根を上にして矢の中ごろを持つように、右手に持ち替え正面に出す。次の矢は、上位の矢から順次 10cm 程度ずらして持つ。

$\beta$ ： $\gamma$ が射場に向かったことを確認して、審判員  $\alpha$  と『順位に関係のない矢』を抜き自射場側へ退場する。『順位に関係のない矢』は退場したあとに、的前管理（矢返し）に渡す。

☆ 進行係への矢の受け渡し方法

- ①  $\gamma$  は必要本数を受け取ったのち、身体を正面に捧げ、右手で矢をかざし左手を腰前に置き、矢道の最短距離を通り射場に運び射場進行と向き合う。
- ② 射場進行は  $\gamma$  に揖をする（審判員  $\gamma$  はしない）。
- ③  $\gamma$  は最上位にある矢から順に左手人差し指で指し「2 位・3 位の矢です」などと、伝えた後、進行係に手渡す（進行係は左手で矢を受け取る）。
- ④  $\gamma$  は手渡した後、進行係に揖をする（進行係はしない）。
- ⑤ 自射場側へ退場する（第一射場であれば左、第二射場であれば右に退場）。

☆（2・3位決定と4・5位決定などで）2つの的を利用する場合は、係生徒にβの役割を担わせるなどして、同時に判定するが上位の矢の受け渡しを優先するため、射場に運ぶ際は時間差をつける。

配置図



### 3. その他

- ✓ 3人立五射場展開による大会運営の場合は、仮設看的表示板を第三射場として運営する。
- ✓ 5人立三射場展開による大会運営の場合は、仮設看的表示版を第二射場として運用する。

参考：公益財団法人 全国高等学校体育連盟 弓道競技規則

#### 第11条【的中の判断】

「あたり」「はずれ」の判定は、矢の根が的面を射ぬき、的枠内にとどまっているか否かによる。矢が折れた場合は、矢の根側の状態で判定する。

- (1) 「あたり」は、矢が的枠内にとどまった場合とする。ただし次の場合も的枠内にとどまったものとし「あたり」とする。
  - (ア) 矢が、的枠の内側からの枠の外側に射ぬいた場合。
  - (イ) 矢が、的枠の合せ目または的枠内にとどまった場合。
  - (ウ) 矢が、あたり矢に継矢となった場合。
  - (エ) はずれ矢に接触して、的枠内にとどまった場合。
  - (オ) 的が転び、矢が的枠内にとどまっている場合。
  - (カ) 的枠内にとどまっている矢の一部が、敷に接触している場合。
- (2) 「はずれ」は矢が的枠内にとどまらなかった場合とする。ただし、次の場合も的枠内にとどまらなかったとし「はずれ」とする。
  - (ア) 矢が、的枠の外側からの枠の内側に射ぬいた場合。
  - (イ) 矢が、侯串と的枠の間にとどまった場合。
  - (ウ) あたり矢に接触して、的枠外に出た場合。
  - (エ) 矢が跳ね返り、的枠外に出た場合。
  - (オ) 掃きあたりの場合。
  - (カ) 幕・防矢ネットなど障害物に接触した場合。

#### 【的枠内の判定基準】

的枠内とは、的枠の外側の円内に矢が存在する事をいい、矢の外側の的枠が破断している場合は、的枠内とは考えない。そのためビニールの紙など、強度がある紙のために、的枠が確認できない場合は、的紙を切り開き矢と的枠の状態を確認する必要がある。矢が的枠正面からあたり、鏃の先端が的枠内に残っている場合は、矢の外側の的枠が破断している場合でも「あたり」と判断する。

#### 第12条【的中制の順位】

- (1) 的中制は、的中数の多い方を上位とする。個人競技で同中の場合は、射詰競射による方法と遠近競射による方法がある。
- (2) 同中の場合は、次の方法により順位を決定する。

## ア) 個人競技

### ①射詰競射の場合

- (ア) 継続的中数の多い方を上位とする。必要により直径24cmの星的を使用することができる。
- (イ) 的中を逸した同位者は、遠近競射を行う。ただし、最上位者を決定する場合は、射詰競射を継続してもよい。

### ②遠近競射の場合

- (ア) 順位は、矢所により判定し、的の中心に近い矢を上位とする。
  - \* 矢所とは矢の最初の着点をいう。
  - \* はずれた矢は的の中心から矢所までの距離を測る。
  - \* 的枠に矢が触れて的が動いた場合は、的を元の位置に戻して距離を測る。
  - \* 矢が的すれすれではずれた場合は、矢が的にあたって外れた場合よりも距離が近い場合があるが、たたき矢は標的に密着していると見てたたき矢の方を上位とする。
- (イ) 同じ距離にある矢は、再度競射を行う。
- (ウ) 塚に届いた掃き矢は、全体での下位とし、複数の場合は的の中心からの距離が近い矢を上位とする。
- (エ) 塚に届かなかった掃き矢は、全体での最下位とし、複数の場合は的の中心からの距離が近い矢を上位とする。
- (オ) 筈こぼれなどで射離されなかった矢は、塚に届かなかった矢より下位とする。(複数の場合は同位)
- (カ) 順位は、複数の的前審判委員で判定する。
  - 直径36cmの霞的を使用し、1つの的に対して同じ立位置から1射行射する。
    - ア) なった後に的前管理(看的・矢取)を行うことを原則とする。全的確認時の、看的表示板との確認発声は的審補助が行う。ただし、的前審判の休憩時間には所属校の生徒が的前審判を務めることがある。その場合、第1・2射場側(前射場)、第3・4射場(後射場)に教員各1名は常駐するよう常任委員所属校間で話し合う。また、遠近競射などの判定などには、的前審判全員であたる。

## ◇射場記録

- 招集から立順票を受け取る。
- 看的表示板に基づいて立順票に記録する。
- 行射終了後、介添に異議の確認を行う。
- 異議がない場合はサインを促し、異議がある場合は確認させたのちサインを促す。

## ◇記録集計

- 射場記録が立順票に記入した的中記録をPCに入力する。
- 予選及び準決勝など、必要に応じて記録をプリントし、本部・招集・進行・的前・射場記録・放送などに配布し、集合場所のホワイトボードなどに貼付する。

## ◇放送・計時

- 放送
  - ア) 進行の指示に基づいて放送する。
- 計時
  - ア) 「はじめ」の発声で計時を開始する。
  - イ) 制限時間(3人立6分・5人立7分)に達する30秒前に鈴を1回鳴らす【予鈴】
  - ウ) 制限時間(3人立6分・5人立7分)に達すると同時に鈴を2回鳴らす【本鈴】
  - エ) 競技中に何らかの事情で競技が中断された時は、進行の指示に従い、「やめ」の発声で計時を停止し、「はじめ」の発声で再開する(原則として、弦切れや失などで時間を延長することはない)。

### 競技終了後の係

◇式典司会      ◦閉会式の呼びかけ放送と司会を行う。

### 閉会式終了後の係

◇清掃

◦清掃は入賞校が閉会式（表彰）後に行うが、速やかに退館できるよう、各部署が協力して原状回復する。

◦清掃区分

\* 選手控室・中央ホール・巻藁練習場・近的場・トイレ（スリッパの整理整頓）

## 大会実施要項（令和4年度案）

### 会場

明治神宮 至誠館第二弓道場

〒151-8557

東京都渋谷区代々木神園町1-1  
03-5302-5865（第二弓道場直通）

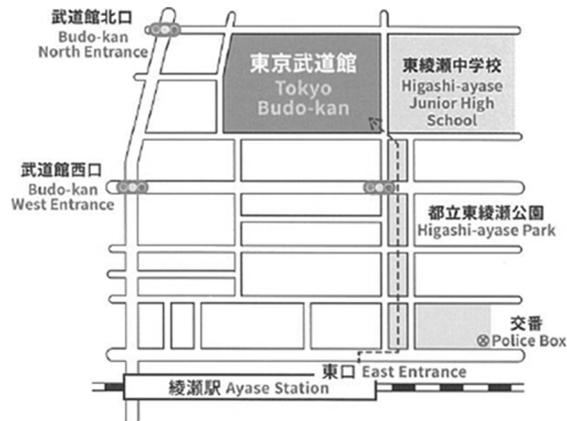


- \* 明治神宮の弓道場は、数ある弓道場の中でもひととき特別であることを認識し、立入禁止区域には絶対に入らないこと。

東京武道館 弓道場

〒120-0005

東京都足立区綾瀬3-20-1  
03-5697-2111



- \* 綾瀬駅改札口付近は狭く大変混雑するため駅での待ち合わせなどはしないこと。
- \* 東京武道館へは車道を通らずに東綾瀬公園内を通ること。

### 入館時間

大会運営役員 8:00（変更の場合は大会プログラムにて案内）

出場選手 チームごとに入館（大会プログラムにて案内）

### 共通項目

1. 主催 東京都高等学校体育連盟
2. 主管 東京都高等学校体育連盟弓道専門部
3. 競技種別 男子の部・女子の部
4. 競技規定 公益財団法人全国高等学校体育連盟「弓道競技規則」  
東京都高等学校体育連盟弓道専門部必携「大会運営申し合せ事項」  
大会実施要項

### 5. 注意事項

- ①各校顧問（コーチを含む）と選手及び介添、運営を担う業務分担校の係生徒以外の施設入館は原則認めない。顧問及びコーチ並びに介添生徒・係生徒は「ID」を、選手は「ゼッケン」を必ず着用すること。
- ②靴袋を持参すること。入館の際に、外履きだけを持ち歩いたり下足箱を使用したりせず、靴袋に外履きを入れて保管すること。また、靴袋の取り違いに注意すること。
- ③開会式には顧問と生徒責任者が**必携と大会プログラムを持って**出席すること。欠席した場合は試合への参加を認めない。プログラムは各校で必要部数を予め用意すること。
- ④突然の欠席等やむを得ない事由により、構成人数が3人（都総体は5人）に満たない団体での出場が余儀なくされた場合は、大会への参加を認める。ただし、団体構成人数の過半数を割る（3人立に1人で出場・5人立に2人以下で出場）と団体入賞資格はなくなる。
- ⑤個人競技の射詰競射の5本目からは、24cmの星的を使用する。
- ⑥射詰競射・決勝トーナメントには、必ず替矢を用意すること（矢返しは5本目まで行わない）。
- ⑦平日に明治神宮で開催する場合を除き、弓道部員及びID装着者以外の観覧を禁止する（2021年度は原則観覧中止）。
- ⑧応援は原則として自校の応援に留めるものとし、観覧席入口を安土側、出口を射場側とする。



# 関東大会東京都予選

1. 期 日 令和4年4月17日(日) 女子1次予選 (明治神宮 至誠館第二弓道場)  
令和4年4月24日(日) 男子1次予選 (明治神宮 至誠館第二弓道場)  
令和4年4月29日(金)午前 女子2次予選以降 (東京武道館 弓道場)  
午後 男子2次予選以降 (東京武道館 弓道場)
2. 競技種目 近的競技
3. 競技種類 団体競技
4. 進 行 予選・準決勝・決勝トーナメント・(必要に応じて)代表校決定戦
5. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霞的)
  - ①1次予選 各自4射1回(合計12射)
    - 的中数の上位から順次16チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は16チームを超えることもある。
    - 1次予選通過的中数及び(2次予選の)集合時間はtwitterなどで周知予定。
  - ②2次予選 各自4射1回(合計12射)
    - 1次予選・2次予選の通算的中数上位8チームを決勝トーナメント進出チームとする。
    - トーナメント表作成のための通過順位は的中数の多い順とする(同中の場合は立順番号の若いチームを上位とする)。
    - 同中により8チームを超える場合は一本競射を行い、競射の通過順に通過順位をつける。一本競射を同時に通過したチームが複数ある場合は、まず競射の的中の多い順、同中の場合は立順番号の若いチームから順に上位として通過順位をつける。
  - ③決勝トーナメント 各自4射1回(合計12射)
    - 各自4射(合計12射)の的中数で勝敗を決する。同中の場合は一本競射を行う。
      - ◇1回戦
        - 第1試合:通過順位『1位対8位』 第2試合:通過順位『5位対4位』
        - 第3試合:通過順位『3位対6位』 第4試合:通過順位『7位対2位』
      - ◇準決勝
        - 第1試合:1回戦『第1試合の勝利チーム対第2試合の勝利チーム』
        - 第2試合:1回戦『第3試合の勝利チーム対第4試合の勝利チーム』
      - ◇決 勝
        - 準決勝『第1試合の勝利チーム対第2試合の勝利チーム』
6. 参加条件 男女各6チーム以内
7. 参加費用 1チームあたり3,000円
8. 申込締切 令和4年3月11日(金)必着
9. 注意事項
  - (ア)射場区分 3人立×4射場
  - (イ)制限時間 1立6分以内とする。
    - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
    - ②30秒前に予鈴(1音)を、制限時間超過を確認して本鈴(2音)を鳴らす。
    - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
    - ④競射については、制限時間を設けない。
10. 表 彰
  - (ア)上位4校を表彰する(優勝1チーム・2位1チーム・3位2チーム)。
  - (イ)上位4校(東京開催の場合は6校)は関東大会の出場権を得る。
    - ①決勝トーナメントの準決勝進出チームで関東大会出場校数を満たせない場合は、決勝トーナメント1回戦敗退チームの中から、予選から決勝トーナメント1回戦まで(36射)の通算的中数が多い順に出場校を選出する。同中の場合は決勝トーナメント1回戦の的中数が多い順とし、それも同中の場合は一本競射を行う。
    - ②決勝トーナメント進出チームで関東大会出場校数を満たせない場合は、まず、決勝トーナメント進出をかけた一本競射での敗退チームから、通過に近い順に出場校を選出する。次いで、予選からの通算的中数が多い順に出場校を選出し、同中の場合は一本競射で出場校を決する。
  - (ウ)1次予選で3中した選手の人数分を、東京都総合体育大会の学校出場枠(通常は8名)に加える。

# 東京都総合体育大会弓道競技

1. 期 日 令和4年6月12日(日)・18日(土)
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 午前女子・午後男子  
6月12日(日)：団体予選  
6月18日(土)：個人予選（個人戦のみの出場者）・団体準決勝  
（必要に応じて競射）・個人決勝・団体決勝  
（必要に応じて個人同中競射）
6. 競技方法 的中制（立射・直径36cm霰的）
  - (ア)団体競技
    - ①予 選 各自4射1回（合計20射）【個人競技の予選を兼ねる】
      - 的中数の上位から順次8チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
    - ②団体準決勝 各自4射1回（合計20射）【個人競技の決勝を兼ねる】
      - 予選・準決勝の通算的中数上位4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
    - ③団体決勝 各自4射1回（合計20射）
      - 予選・準決勝・決勝の通算的中数で順位を決定する。
    - ④同中競射 各自1射1回（合計5射）
      - 決勝において、同中の場合は一本競射を行う。
  - (イ)個人競技  
団体競技に出場している選手は、団体競技予選の的中数を個人競技予選の的中数に、団体競技準決勝の的中数を個人競技決勝の的中数とする。団体競技予選で3中した選手の所属するチームが準決勝に進出できなかった場合は、下記②【個人競技の決勝】に招集する。
    - ①個人予選 各自4射1回  
3中以上の的中者を決勝進出とする。
    - ②個人決勝 各自4射1回  
予選・決勝の通算的中数で順位を決定する。
    - ③同中競射 各自1射  
決勝において同中の場合は競射を行う。  
ただし、全国総体出場権を得る1位及び2位が決定するまでは射詰競射をもって行い、3位から8位の決定は遠近競射をもって行う。
7. 注意事項
  - (ア)射場区分 団体競技：5人立×2射場  
個人競技：3人立×4射場
  - (イ)制限時間 1立7分以内とする。
    - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
    - ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
    - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
    - ④競射については、制限時間を設けない。
  - (ウ)選手交代
    - ①団体選手の交代は予選時に登録した補欠選手に限り認める（補欠選手は個人戦出場選手の中から登録すること）。ただし、交代は1回に限る。
    - ②選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。

## 8. 表彰

(ア)団体競技は上位3校を表彰し、個人競技は上位8名を表彰する。

(イ)団体競技優勝校と個人競技上位2名は全国高等学校総合体育大会の出場権を得る。

## 9. 大会参加費

1,000円/名を原則とするが、団体競技に出場登録する場合は団体構成人数が5名に満たなくても5,000円/チームとする。

(ア)個人競技に出場登録できる人数は、学校出場枠(上限8名)に関東大会東京都予選で与えられた出場資格人数を加えたものとする。

(イ)個人競技に出場する人数による団体競技の出場登録は以下の通りとする。

①個人競技出場者が1～2名の場合

団体競技には出場登録できない。

②個人競技出場者が3～4名の場合

団体競技に出場登録することができる(大会参加費は5,000円)。団体競技に出場登録をせず個人競技のみに出場登録することもできる(大会参加費は出場人数×1,000円)。

③個人競技出場者が5名以上の場合

団体競技に出場登録することができる(大会参加費は団体競技への出場に関わらず出場人数×1,000円)。

# 東京都個人選手権大会 (関東高等学校弓道個人選手権選抜大会東京都予選)

1. 期 日 令和4年8月24日(水) 女子の部予選

令和4年8月25日(木) 男子の部予選

令和4年8月26日(金) 男女決勝

2. 会 場 明治神宮 至誠館第二弓道場

3. 競技種目 近的競技

4. 競技種類 個人競技

5. 進 行 予選・決勝・同中競射

6. 競技方法 的中制(立射・直径36cm霞的)

①予 選 各自4射1回

。3中以上の的中者を決勝進出とする。

②決 勝 各自4射1回

。予選・決勝の通算的中数により順位を決定する。

③同中競射

。決勝において、同中の場合は競射を行う。ただし、優勝が決定するまでは射詰競射を行い、2位から20位の決定は遠近競射を行う。

## 7. 注意事項

(ア)射場区分 3人立×4射場

(イ)制限時間 なし(弦音打起しを心掛けること)

## 8. 表彰

①上位20名を表彰する。

②上位18名(国体選手が出場できない場合は14名)は関東高等学校弓道個人選手権選抜大会の出場権を得る。前年度当該大会で6位以内に入賞した場合はその入賞数を加える(出場を辞退する場合は、予選終了後、速やかに本部まで申し出ること)。

③優勝者に川又杯を授与する。

# 東京都秋季大会 (兼 全国高等学校弓道選抜大会東京都予選)

1. 期 日 令和4年10月1日(土) 女子の部  
令和4年10月2日(日) 男子の部  
令和4年10月23日(日) 男女決勝
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 1次予選(個人予選を兼ねる)・2次予選(個人決勝を兼ねる)  
個人決勝(団体2次予選に進出できなかった個人のみ)・団体準決勝  
団体決勝・個人同中競射
6. 競技方法 的中制(立射・直径36cm震的)  
団体競技は個人競技を兼ねる。個人競技としてのみの行射は2次予選に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。  
(ア)団体競技
  - ①1次予選 各自4射1回(合計12射)
    - 的中数の上位から順次16チームを2次予選進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は16チームを超えることもある。
  - ②2次予選 各自4射1回(合計12射)
    - 1次予選・2次予選の通算的中数の上位から順次8チームを準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。
  - ③団体準決勝 各自4射1回(合計12射)
    - 1次予選から準決勝までの通算的中数の上位から順次4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。
  - ④団体決勝 各自4射1回(合計12射)
    - 1次予選から決勝までの通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競射を行う。  
(イ)個人競技
  - ①個人予選(1次予選と兼ねる)
    - 3中以上の的中者を決勝進出とする。
  - ②個人決勝(1次予選通過団体に所属する個人予選通過者は2次予選と兼ねる)
    - 個人予選・個人決勝の通算的中数で8位までの順位を決定する。同中の場合は次項③同中競射を行う。
  - ③同中競射
    - 全国選抜大会出場権が得られる1・2位決定までは射詰競射を行い、3～8位決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項  
(ア)射場区分 3人立×4射場  
(イ)制限時間 1立6分以内とする。
  - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
  - ②30秒前に予鈴(1音)を、制限時間超過を確認して本鈴(2音)を鳴らす。
  - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
  - ④競射については、制限時間を設けない。
8. 表 彰  
(ア)団体競技は上位3チームを表彰し、個人競技は上位8名を表彰する。  
(イ)団体競技優勝校と個人競技優勝・準優勝者は全国高等学校弓道選抜大会の出場権を得る(ただし、選手に3年生がいるチームを除く)。

# 東京都新人大会（兼 東日本高等学校弓道大会東京都予選）

1. 期 日 令和4年11月12日(土) 女子の部  
令和4年11月13日(日) 男子の部  
令和4年11月20日(日) 男女決勝
2. 会 場 東京武道館 弓道場
3. 競技種目 近的競技
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 団体予選（個人戦を兼ねる）・団体準決勝・団体決勝トーナメント  
（必要に応じて）推薦校決定戦・個人順位決定戦
6. 競技方法 的中制（立射・直径36cm霰的）
  - (ア)団体競技
    - ①予 選 各自4射1回（合計12射）  
◦関東大会東京都予選の予選に準ずる。
    - ②準決勝 各自4射1回（合計12射）  
◦関東大会東京都予選の準決勝に準ずる。
    - ③決勝トーナメント 各自4射1回（合計12射）  
◦関東大会東京都予選の決勝トーナメントに準ずる。
  - (イ)個人競技
    - ①団体競技1次予選4射の成績をもって、個人競技の成績とする（ただし、入賞は皆中者とする）。
    - ②優勝決定は射詰競射を行い、2位から5位決定は遠近競射を行う。
7. 注意事項
  - (ア)射場区分 3人立×4射場
  - (イ)制限時間 1立6分以内とする。
    - ①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。
    - ②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。
    - ③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。
    - ④競射については、制限時間を設けない。
8. 表 彰
  - (ア)団体競技は上位4チーム（優勝1チーム・2位1チーム・3位2チーム）を表彰し、個人競技は上位5名を表彰する。
  - (イ)団体競技上位2校（関東開催は3校）を東日本高等学校弓道大会に推薦する。
    - ①決勝トーナメントの決勝進出チームで東日本大会推薦校数を満たせない場合は、決勝トーナメント準決勝進出チームの中から、予選から決勝トーナメント準決勝まで（48射）の通算的中数が多い順に出場校を選出する。同中の場合は一本競射を行う。
    - ②①で満たせない場合は、決勝トーナメント進出チームの中から、予選から決勝トーナメント1回戦まで（36射）の通算的中数が多い順とし、それも同中の場合は一本競射を行う。
    - ③決勝トーナメント進出チームで東日本大会推薦校を満たせない場合は、決勝トーナメント進出をかけた一本競射での敗退チームから、通過に近い順に出場校を選出する。次いで、予選・準決勝の通算的中数の多い順に出場校を選出し、同中の場合は一本競射を行う。

# 東京都遠的大会（兼 紫灘旗全国高校遠的弓道大会東京都予選）

1. 期 日 令和5年2月12日(日)
2. 会 場 明治神宮 至誠館第二弓道場
3. 競技種目 遠的競技（近的競技に変更する場合有り）
4. 競技種類 団体競技・個人競技
5. 進 行 団体予選（個人予選を兼ねる）・団体準決勝（個人決勝を兼ねる）  
団体決勝・個人決勝（団体準決勝に進出できなかった個人のみ）・個人同中競射
6. 競技方法 的中制（立射・直径100cm霰的）

団体競技は個人競技を兼ねる。個人競技としてのみの行射は団体準決勝に進出できなかった団体に所属する個人予選通過者に対して行う。

## （ア）団体競技

### ①団体予選 各自4射1回（合計12射）

・的中数の上位から順次8チームを団体準決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は8チームを超えることもある。

### ②団体準決勝 各自4射1回（合計12射）

・予選から準決勝まで（24射）の通算的中数の上位から順次4チームを決勝進出チームとする。ただし、同中チームがある場合は4チームを超えることもある。

### ③団体決勝 各自4射1回（合計12射）

・予選から決勝まで（36射）の通算的中数で3位までの順位を決定する。同中チームがある場合は一本競射を行う。

## （イ）個人競技

### ①個人予選（1次予選と兼ねる）

・3中以上（男子）・2中以上（女子）の的中者を決勝進出とする。

### ②個人決勝（予選通過団体に所属する個人予選通過者は団体準決勝と兼ねる）

・個人予選・個人決勝の通算的中数で5位までの順位を決定する。同中の場合は次項③同中競射を行う。

### ③同中競射

・優勝決定は射詰競射を行い、2位から5位決定は遠近競射を行う。

## 7. 注意事項

### （ア）射場区分 3人立×3射場

### （イ）制限時間 1立6分以内とする。

①行射時間は進行の「始め」の合図で計時係が計時を開始する。

②30秒前に予鈴（1音）を、制限時間超過を確認して本鈴（2音）を鳴らす。

③弦切れ、その他の事故が生じてても時間の延長はしない。

④競射については、制限時間を設けない。

### （ウ）選手交代

①団体選手の交代は補欠に登録されている選手に限り認める。ただし、交代は1回に限る。

②選手交代は、招集までに監督（顧問）が本部に交代届を提出する。

### （エ）その他

①遠的矢については、当日に本専門部より貸し出しを行う。

②近的競技に変更した場合に備えて近的矢も準備する。

## 8. 表彰

（ア）団体競技は上位3校を表彰し、個人競技は上位5名を表彰する。

（イ）団体競技入賞校を紫灘旗全国高校遠的弓道大会に推薦する。

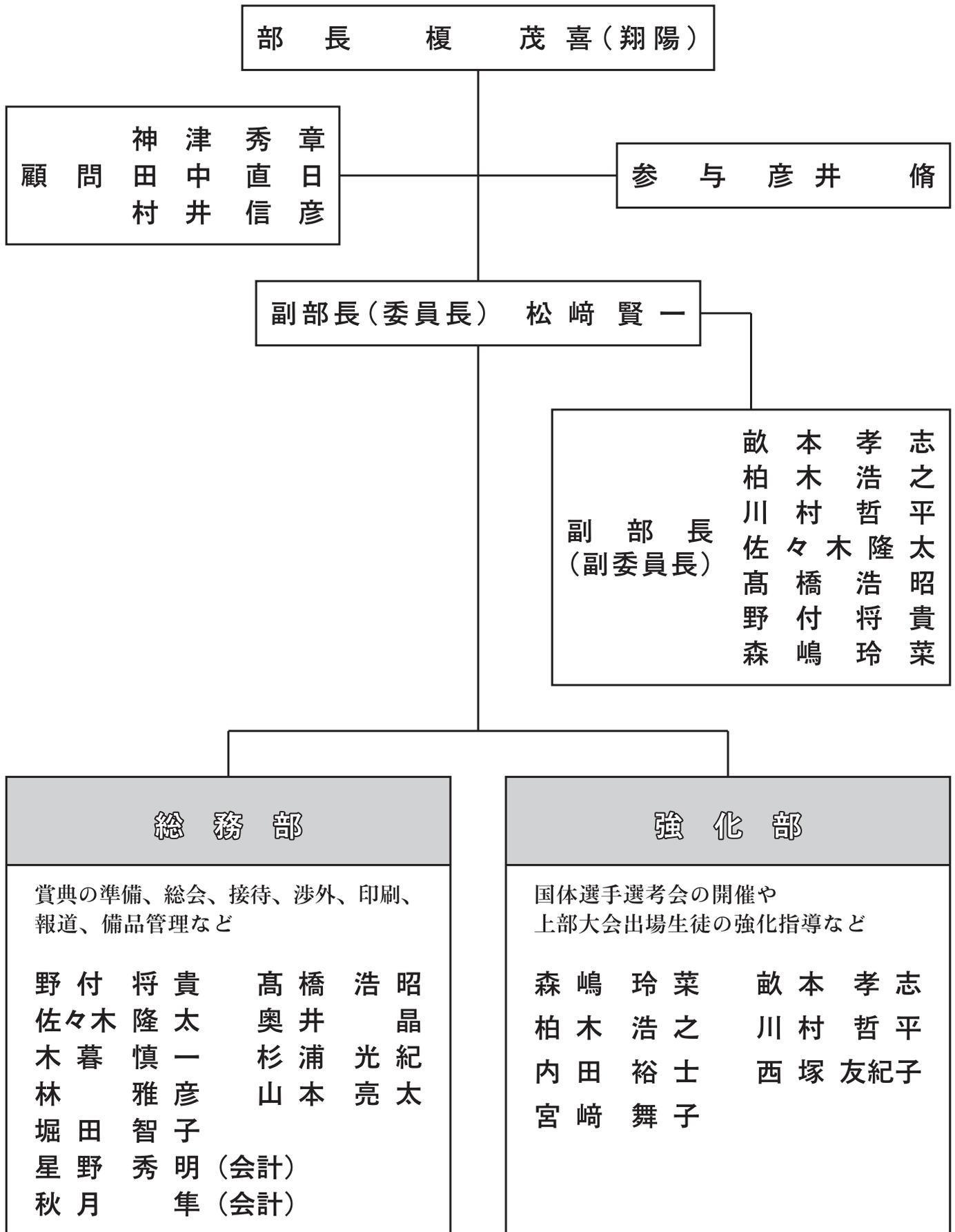
令和4(2022)年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 役員表(案)

部 長	都立翔陽高等学校	榎 茂 喜
顧 問		神 津 秀 章 田 中 直 日 村 井 信 彦
参 与		彦 井 脩
副 部 長(委 員 長)	都立翔陽高等学校(高体連常任理事)	松 崎 賢 一
副 部 長(副 委 員 長)	都立芦花高等学校 都立東高等学校 都立井草高等学校 大成高等学校 城北学園城北高等学校 都立三田高等学校(都連担当) 吉祥女子高等学校	畝 本 孝 志 柏 木 浩 之 川 村 哲 平 佐々木 隆 太 高 橋 浩 昭 野 付 将 貴 森 嶋 玲 菜
常任委員(会 計)	都立美原高等学校(都高体連研究部員) 都立桜修館中等教育学校 東海大学菅生高等学校 東京女子学院高等学校 都立井草高等学校 錦城高等学校 都立杉並総合高等学校 (会 計) 文化学園大学杉並高等学校 日本体育大学桜華高等学校 都立小岩高等学校 都立竹台高等学校	秋 月 隼 内 田 裕 士 奥 井 晶 木 暮 慎 一 杉 浦 光 紀 西 塚 友 紀 林 野 秀 明 星 野 舞 子 宮 崎 亮 太 山 本 智 子 堀 田 智 子
会計監査	都立桜修館中等教育学校	乃 美 弘 樹

問い合わせ先

弓道専門部事務局	〒193-0944 東京都八王子市館町1097-136 都立翔陽高等学校内 TEL 042-663-3318 FAX 042-663-3362
東京都高等学校体育連盟事務局	〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 東京都庁第二本庁舎15階 TEL 03-5320-7470
全日本弓道連盟	〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE TEL 03-6447-2980 FAX 03-6447-2981
明治神宮至誠館	〒151-8557 東京都渋谷区代々木神園町1-1 TEL 03-3379-9137(事務室)・03-5302-5865(中央道場)
東京武道館	〒120-0005 東京都足立区綾瀬3-20-1 TEL 03-5697-2111
選手登録関係	高橋浩昭(城北学園城北高等学校) j_kyudo@hotmail.com
国体選手選考会関係	森嶋玲菜(吉祥女子高等学校) rmorishima@kichijo-joshi.ed.jp
大会申込関係	野付将貴(都立三田高等学校) Masataka_Notsuki@education.metro.tokyo.jp
ID・プログラム関係	佐々木隆太(大成高等学校) r.sasaki@taisei.ed.jp
大会参加費等払込口座	東京都高等学校体育連盟弓道専門部 ゆうちょ銀行 02 東京 00130-4-707395

# 令和 4 (2022) 年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部 組織図 (案)



令和4(2022)年度 東京都高等学校体育連盟弓道専門部加盟校一覧

No.	設立	学 校 名	男 女	〒	住 所	T E L	F A X
1	都立	両国高等学校	男 女	130-0022	墨田区江東橋1-7-14	03-3631-1815	03-3846-6682
2	都立	八潮高等学校	男 女	140-0002	品川区東品川3-27-22	03-3471-7384	03-3472-9840
3	都立	三田高等学校	男 女	108-0073	港区三田1-4-46	03-3453-1991	03-3453-2899
4	都立	昭和高等学校	男 女	196-0033	昭島市東町2-3-21	042-541-0222	042-546-0150
5	都立	第五商業高等学校	男 女	186-0004	国立市中3-4	042-572-0132	042-573-8794
6	都立	三鷹中等教育学校	男 女	181-0004	三鷹市新川6-21-21	0422-46-3311	0422-49-8429
7	都立	江戸川高等学校	男 女	132-0031	江戸川区松島2-38-1	03-3651-0297	03-3674-0970
8	国立	東京学芸大学附属高等学校	男 女	154-0002	世田谷区下馬4-1-5	03-3421-5151	03-3421-5152
9	私立	早稲田大学高等学院	男	177-0044	練馬区上石神井3-31-1	03-5991-4165	03-3928-4110
10	私立	日本体育大学荏原高等学校	男 女	146-8588	大田区池上8-26-1	03-3759-3291	03-3759-3614
11	私立	田園調布学園高等部	女	158-8512	世田谷区東玉川2-21-8	03-3727-6121	03-3727-2984
12	私立	日黒学院高等学校	男 女	153-8631	目黒区中目黒1-1-50	03-3711-6556	03-3713-7448
13	私立	國學院高等学校	男 女	150-0001	渋谷区神宮前2-2-3	03-3403-2331	03-3403-1320
14	私立	城北学園城北高等学校	男	174-8711	板橋区東新町2-28-1	03-3956-3157	03-3956-9779
15	私立	國學院大學久我山高等学校	男 女	168-0082	杉並区久我山1-9-1	03-3334-1151	03-3335-1233
16	私立	法政大学高等学校	男 女	181-0002	三鷹市牟礼4-3-1	0422-79-6230	0422-79-6260
17	都立	日比谷高等学校	男 女	100-0014	千代田区永田町2-16-1	03-3581-0808	03-3597-8331
18	私立	頌栄女子学院高等学校	女	108-0071	港区白金台2-26-5	03-3441-2005	03-3441-4043
19	私立	東京都立大学等々力高等学校	男 女	158-0082	世田谷区等々力8-10-1	03-5962-0104	03-3701-2197
20	私立	早稲田高等学校	男	162-8654	新宿区馬場下町62	03-3202-7674	03-3202-7692
21	私立	日本大学鶴ヶ丘高等学校	男 女	168-0063	杉並区和泉2-26-12	03-3322-7521	03-3325-0203
22	都立	小岩高等学校	男 女	133-0044	江戸川区本一色3-10-1	03-3651-2250	03-3674-1405
23	私立	駒沢学園女子高等学校	女	206-8511	稲城市坂浜238	042-331-1911	042-350-7188
24	都立	芝商業高等学校	男 女	105-0022	港区海岸1-8-25	03-3431-0760	03-3435-0240
25	私立	佼成学園高等学校	男	166-0012	杉並区和田2-6-29	03-3381-7227	03-3380-5656
26	私立	海城高等学校	男	169-0072	新宿区大久保3-6-1	03-3209-5880	03-3209-6990
27	私立	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	男 女	185-8505	国分寺市本町1-2-1	042-300-2121	042-300-1123
28	私立	錦城高等学校	男 女	187-0001	小平市大沼町5-3-7	042-341-0741	042-345-4255
29	都立	立川国際中等教育学校	男 女	190-0012	立川市曙町3-29-37	042-524-3903	042-527-1829
30	私立	東海大学付属高輪台高等学校	男 女	108-0074	港区高輪2-2-16	03-3448-4011	03-3448-4020
31	私立	玉川学園高等部	男 女	194-8610	町田市玉川学園6-1-1	042-739-8533	042-739-8559
32	私立	立正大学付属立正高等学校	男 女	143-8557	大田区西馬込1-5-1	03-6303-7683	03-3775-1356
33	私立	東京成徳大学高等学校	男 女	114-0002	北区王子6-7-14	03-3911-5196	03-3911-2447
34	私立	文化学園大学杉並高等学校	男 女	166-0004	杉並区阿佐ヶ谷南3-48-16	03-3392-6636	03-3391-8272
35	私立	日本体育大学桜華高等学校	女	189-0024	東村山市富士見町2-5-1	042-391-4133	042-392-6424
36	都立	東高等学校	男 女	136-0074	江東区東砂7-19-24	03-3644-7176	03-3615-7463
37	私立	芝浦工業大学附属高等学校	男 女	135-8139	江東区豊洲6-2-7	03-3520-8501	03-3520-8504
38	私立	吉祥女子高等学校	女	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町4-12-20	0422-22-8117	0422-22-9752
39	私立	大東学園高等学校(休会中)	男 女	156-0055	世田谷区船橋7-22-1	03-3483-1901	03-3483-4105
40	私立	目白研心高等学校	男 女	161-8522	新宿区中落合4-31-1	03-5996-3133	03-5996-3066
41	私立	東海大学菅生高等学校	男 女	197-0801	あきる野市菅生1817	042-559-2200	042-532-7072
42	都立	秋留台高等学校	男 女	197-0812	あきる野市平沢153-4	042-559-6821	042-558-3164
43	私立	品川女子学院高等学校	女	140-8707	品川区北品川3-3-12	03-3474-4048	03-3471-4076
44	国立	筑波大学附属高等学校	男 女	112-0012	文京区大塚1-9-1	03-3941-7176	03-3943-0848
45	私立	慶應義塾女子高等学校	女	108-0073	港区三田2-17-23	03-5427-1674	03-5427-1675
46	私立	駒場学園高等学校	男 女	155-0032	世田谷区代沢1-23-8	03-3413-5561	03-3795-9068
47	私立	多摩大学目黒高等学校	男 女	153-0064	目黒区下目黒4-10-24	03-3714-2661	03-3714-2632
48	私立	東京女子学院高等学校	女	177-0051	練馬区関町北4-16-11	03-3920-5151	03-5991-0632
49	私立	科学技術学園高等学校	男	157-8562	世田谷区成城1-11-1	03-5494-7711	03-5494-7720
50	都立	竹台高等学校	男 女	116-0014	荒川区東日暮里5-14-1	03-3891-1515	03-3891-1518
51	私立	東京実業高等学校	男 女	144-0051	大田区西蒲田8-18-1	03-3732-4481	03-3732-4456
52	都立	練馬高等学校	男 女	179-8908	練馬区春日町4-28-25	03-3990-8643	03-3926-8373
53	私立	桜美林高等学校	男 女	194-0294	町田市常盤町3758	042-797-2667	042-797-3432
54	都立	晴海総合高等学校	男 女	104-0053	中央区晴海1-2-1	03-3531-5021	03-3531-5024
55	都立	桐ヶ丘高等学校(休会中)	男 女	115-0052	北区赤羽北3-5-22	03-3906-2173	03-3909-4739
56	都立	井草高等学校	男 女	177-0044	練馬区上石神井2-2-43	03-3920-0319	03-5991-0757
57	都立	つばき総合高等学校	男 女	144-8533	大田区本羽田3-11-5	03-5737-0151	03-5737-0154
58	都立	芦花高等学校	男 女	157-0063	世田谷区粕谷3-8-1	03-5315-3322	03-3305-8180
59	都立	新宿高等学校(休会中)	男 女	160-0014	新宿区目黒町11-4	03-3354-7411	03-3225-4402
60	都立	杉並総合高等学校	男 女	168-0073	杉並区下高井戸5-17-1	03-3303-1003	03-3303-7751
61	都立	翔陽高等学校	男 女	193-0944	八王子市館町1097-136	042-663-3318	042-663-3362
62	私立	明星学園高等学校	男 女	181-0002	三鷹市牟礼4-15-22	0422-48-6221	0422-41-6091
63	私立	開成高等学校	男	116-0013	荒川区西日暮里4-2-4	03-3822-0743	03-3822-4558
64	都立	美原高等学校	男 女	143-0012	大田区大森東1-33-1	03-3764-3883	03-3764-3854
65	私立	新渡戸文化高等学校	男 女	164-8638	中野区本町6-38-1	03-3381-0408	03-3381-0508
66	私立	大成高等学校	男 女	181-0012	三鷹市上連雀6-7-5	0422-43-3196	0422-47-6302
67	都立	葛飾総合高等学校	男 女	125-0035	葛飾区南水元4-21-1	03-3607-3878	03-3826-1923
68	都立	桜修館中等教育学校	男 女	152-0023	目黒区八雲1-1-2	03-3723-9970	03-3723-9980
69	私立	郁文館高等学校	男 女	113-0023	文京区向丘2-19-1	03-3828-2206	03-3828-1261
70	私立	宝仙学園高等学校	男 女	164-8628	中野区中央2-28-3	03-3371-7109	03-3371-7144
71	都立	世田谷総合高等学校	男 女	157-0076	世田谷区岡本2-9-1	03-3700-4771	03-3700-0866
72	私立	駿台学園高等学校	男 女	114-0002	北区王子6-1-10	03-3913-5735	03-3912-2810
73	私立	昭和第一高等学校	男 女	113-0033	文京区本郷1-2-15	03-3811-0636	03-3814-7985
74	都立	瑞穂農芸高等学校	男 女	190-1211	西多摩郡瑞穂町石畑2027	042-557-0142	042-556-2439
76	都立	青梅総合高等学校	男 女	198-0041	青梅市勝沼1-60-1	0428-22-7604	0428-22-7624



令和4(2022)年度

大会立順票

立順番号

学校番号	性別	学校名						
		監督名						
		チーム名	A	B	C	D	E	F

顧問印	
-----	--

立	氏名	学年							備考
1									
2									
3									
4									
5									
補									
			チーム合計		チーム合計		チーム合計		
確認サイン									

注意 ①東京都総合体育大会弓道競技 個人の部・東京都個人選手権大会は一人1枚使用すること  
 ②顧問の捺印のないものは無効 東京都高等学校体育連盟弓道専門部



令和4(2022)年度

大会立順票

立順番号

学校番号	性別	学校名						
		監督名						
		チーム名	A	B	C	D	E	F

顧問印	
-----	--

立	氏名	学年							備考
1									
2									
3									
4									
5									
補									
			チーム合計		チーム合計		チーム合計		
確認サイン									

注意 ①東京都総合体育大会弓道競技 個人の部・東京都個人選手権大会は一人1枚使用すること  
 ②顧問の捺印のないものは無効 東京都高等学校体育連盟弓道専門部

令和 年 月 日

東京都高等学校体育連盟弓道専門部 委員長 殿

# 取矢免除申請書

学校番号 \_\_\_\_\_

学校名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

(男子・女子) 団体の部・個人の部 (該当する箇所に○印をつけて下さい)

立順番号 ( ) 番

次の通り、選手の競技における取矢免除を申請します。

ふりがな	
選手名	
理由	

提出期限：開会式開始まで

提出先：本部

令和 年 月 日

東京都高等学校体育連盟弓道専門部 委員長 殿

# 選手交代届

学校番号 \_\_\_\_\_

学校名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

(男子・女子) (該当する箇所に○印をつけて下さい)

立順番号 ( )番

次の通り、選手を交代します。(交代のある選手のみ記入して下さい)

立	交代前	交代後
一		
二		
三		
四		
五		

提出期限：招集前まで

提出先：本部